

テーマ ほしのえほん

しよめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
こうさぎとほしのどうくつ	わたり むつこ／作 でくね いく／絵	のら書店	エホン/テ	こうさぎのきょうだいは、となりのいえのこうさぎといっしょにどうくつにでかけます。すべりおちたさきのおおひろまでたくさんのおほしさまをみつけます。うさぎたちは、おほしさまにでぐちをたずねるとあまのがわのようになりうさぎたちをみちびきました。
ピーちゃんほしのことあそぶ	まつい のりこ／さく	偕成社	Sエホン	ちっちゃなおばけのピーは、そらからながれほしがうみにおちるのをみていました。ピーはそらをとぶにじのかさをさして、うみにながれほしをさがしにいき、ちいさなしまでほしのこどもをみつけます。ピーとほしのこどもは、すぐになかよしになりました。
いっぴきおおかみとおほしさま	まつむら まいこ／作	小学館	エホン/マ	ずっとひとりでくらすおおかみ。ひとりはずきだけど、おなかがスースーするときもありました。あるよる、そらのほしとであいます。なかよくなったふたりは、おおかみがほしをぱくっとまるのみして、いっしょにいることにしました。でも、ほしはどんどんげんきがなくなってしまう。
おほしさまかいて！	エリック・カール／さく さの ようこ／やく	偕成社	エホン/カ	えかきがほしをかきました。ほしがたいようを、たいようがきを、きがおんなのひととおとこのひとをとつぎつぎに「〇〇かいて」とおねがいします。そしてすばらしいせかいができてきました。ほんのさいごに、ほしのかきかたがのっています。あなたもほしをかいてみませんか。
ほしになったりゅうのきば	君島 久子／再話 赤羽 末吉／画	福音館書店	エホン/ア	ある日、山の上からおちてきた大きな石から子どもが生まれました。サンと名づけられた子がりっぱな若者になったころ、2匹のりゅうがけんかをして、天がさけてしまいました。サンは天のさけめをつくろう方法をさがしにライロン山の老人に会いに行くことにしました。
ほしをもったひめ セルビアのむかしばなし	八百板 洋子／文 小沢 さかえ／絵	福音館書店	エホン/オ	おうさまとおひめさまがすんでいる、ふかいもりにかこまれたおしろがありました。あるひおうさまは、「ひめはほしをもっている。どこにもっているかをいいあてたものにひめとくにのはんぶんをゆずる」といいました。だれがおひめさまのほしのばしょをいいあてるのでしょうか。